

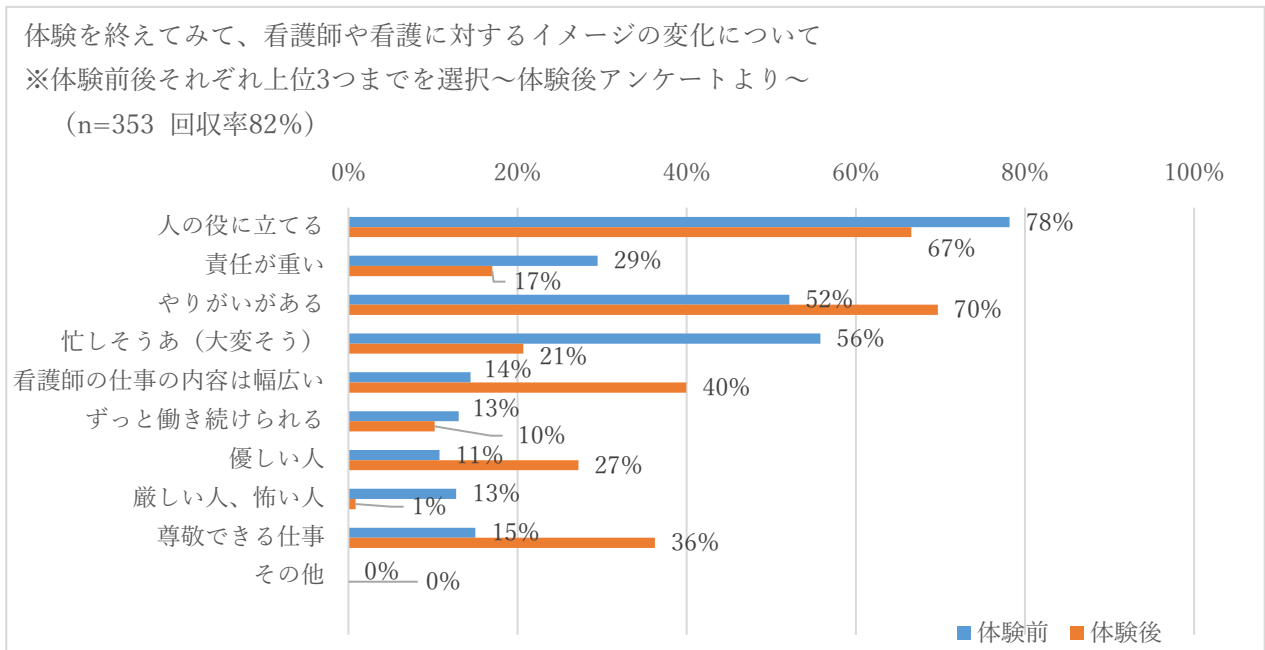
「ふれあい看護体験 2023」実施報告

1. 目的 これからの社会を担っていく中学生・高校生に、患者さんとのふれあいを通して看護することや命についての理解と関心を深める機会を提供する。併せて、看護職を希望する人材の掘り起こしを図る。
2. 実施期日 令和5年7月24日（月）～ 令和5年8月4日（金）
3. 実施予定施設 55施設（県北：19 県央：22 県南：14 ）
4. 申込 58校 延べ810名（県北：15校 県央：15校 県南：12校）
5. 結果
 - 1) 受入実施施設 50施設
 - 2) 参加者 429名
 中学校 13校 39名（1年生1名、2年生3名、3年生35名）
 高校 39校 390名（1年生33名、2年生78名、3年生279名）
 - 3) 「ふれあい看護体験 2023」アンケート結果

アンケート対象者 429名 回答数 353名 回収率 82%

設問内容		回答数		回答数/回収数	
Q1. 参加のきっかけ (複数回答)	掲示板(ポスター)	147		42%	
	先生(HRで聞いた)	276		78%	
	家族	9		3%	
	先輩・友人	16		5%	
	昨年も参加した	11		3%	
	看護協会ホームページ	14		4%	
	その他	2		1%	
Q2. 看護体験に参加した動機(複数回答)	看護師・助産師・保健師いずれかを目指している	291		82%	
	福祉関係を目指している(介護福祉士など介護系)	9		3%	
	医療系を目指している(医師/薬剤師/理学・作業療法士/放射線技師/臨床検査技師/などの医療専門職種)	30		8%	
	病院に興味がある	13		4%	
	面白そうだから	3		1%	
	その他	7		2%	
	Q3. 看護師・看護の仕事のイメージはどのようなものでしたか? (複数回答)		前		後
人の役に立てる		276	78%	235	67%
責任が重い		104	29%	60	17%
やりがいがある		184	52%	246	70%
忙しそう(大変そう)		197	56%	73	21%
看護師の仕事の内容は幅広い		51	14%	141	40%
ずっと働き続けられる		46	13%	36	10%

	優しい人	38	11%	96	27%
	厳しい、怖い人	45	13%	3	1%
	尊敬できる仕事	53	15%	128	36%
	その他	0	0%	0	0%
Q5. 看護体験のなかで困ったこと、戸惑ったことはないか	ある	0		0%	
	ない	0		0%	



Q4 いろいろ看護体験で印象的だったこと

【看護技術体験に関すること】

- 心肺蘇生 (12人)
- 血圧測定 (10人)
- 採血体験 (9人)
- 足浴 (10人)
- 車いす体験 (6人)
- 食事の介助 (6人)
- 喀痰吸引などの体験 (4人)
- ルート確保の体験 (4人)
- 防護服を着る体験 (4人)
- 心電図モニター測定 (3人)
- グリッターバッグ体験 (3人)
- 手浴 (2人)
- 洗髪 (2人)
- 足浴や体を拭いた時に患者さんに気持ちよかったと言ってもらえたこと (2人)
- 色々なブースがあり、それぞれのブースの特徴や、仕事内容が分かった (2人)

- 胸骨圧迫体験（2人）
- 実際に模型に注射をしてみて、難しく沢山の知識と技術が必要だなと思った（2人）
- ストレッチャー体験（2人）
- シーツ交換（2人）
- ベッドシーツを患者さんがベッドに寝ている状態で行うことにびっくりした
- 体が不自由な人をベッドから車椅子に座らせること
- ストレッチャーには向きがあったこと
- ゼリー状の食事体験
- AED 体験
- 人が倒れている時の処置の仕方 AED が届くまでの応急処置
- 緊急の患者さんの対応の時の体験
- 採血を間近でみたこと
- 患者さんのシャントを聞いたこと
- リハビリ体験
- 手術の時に着る物に手順があって菌をつけないようにしないといけないこと
- ベッドの上で体を拭いたり、頭を洗ったこと
- お風呂に入れてあげて患者さんからお礼を言われた時嬉しかった
- 洗髪や足浴を体験してみて、患者さんのペースに合わせながらまた、話をしながら患者さんが不安にならないように丁寧に洗っていた事
- 認知症の方と折り紙や風船で遊んだこと
- それぞれに合った車椅子があるということ
- 1人1人の部屋の掃除がとても大変だった
- リアルの心臓とか見れたので、良い機会になった
- 滅菌の袋入れを体験したこと
- 光をあてて瞳孔が小さくなること
- 高齢者体験で足や肘が曲がらないのがすごく不便だった
- 産婦人科の方で看護体験をさせて頂きました。赤ちゃんにミルクを飲ませたり患者さんと近くで関わる事が出来たことが印象的でした
- 妊婦服を着て妊婦さんの大変さを知ることができた
- 妊婦さんのお腹にいる赤ちゃんの心拍を聞いたこと
- 赤ちゃんを抱っこできたこと！！
- 赤ちゃんの沐浴を体験出来たこと
- 赤ちゃんの人形を抱っこしてオムツ交換をしたこと

【看護の仕事について】

- 患者さんと沢山コミュニケーションを持っていたこと（19人）
- 1人1人の患者さんに親身に寄り添っていたところ（11人）
- 思っていた何倍も看護師の仕事が幅広かったこと（7人）
- 色々な仕事があって一人一人が人の命を救うために努力していたこと（4人）

- 色々な職種の人たちがひとつの病院内で協力しながら働いているところ（4人）
- 患者さんとスタッフの方々が気軽に会話をしていて、打ち解けていたこと（4人）
- 看護師の方々が患者さん一人一人に対して、その人達にあった対応をしていたこと（3人）
- 患者さんのことを第一に考えて、細かい声掛けや行動、気遣いをしていたことが印象的でした（4人）
- 患者さんに優しく声をかけている看護師さんの姿です（4人）
- 看護師の方々がとてもかっこよかった（3人）
- 看護師さんたちの雰囲気明るくて魅力的だった（3人）
- 患者さんや医療従事者の方同士のコミュニケーションや協力の仕方（3人）
- 看護師さんの動きが俊敏で素晴らしかったこと（3人）
- 看護師さんが患者さんに対して、大きな声で話していたこと（2人）
- 患者さんと笑顔で優しく接していて、患者さんを笑顔にしていたところ（2人）
- 看護だけでなく、様々な活動をしているという事、また看護師が中心になって医療というのが成り立っている事
- 大変で覚えることがたくさん
- 患者さんと接するのが難しそうだけど楽しそうに見えたこと
- 患者さんのガーゼを変える時痛そうだったので看護師さんが親身になって手当てしていたこと
- 看護師さんや介護士さんの患者に対する行動が感動した
- 一つ一つのものの名前が難しく覚えるのが大変だったところです
- 看護師さん全員が休まずずっと動いていた
- 看護師さんたちの患者さんに対する心配りが常にされていたこと
- 元々看護師の方達はとても厳しくてとてもピリピリした雰囲気だと思っていました。しかし付いてくださった看護師の方達はとても優しくて楽しませてくれようと明るく接して下さって看護師に対するイメージがまたひとつプラスにかわりました
- 患者さんの介助をしている時に、重労働だったがその間も患者さんへの気遣いを忘れずに向き合っていた担当看護師さんの様子を見てとても感動しました！
- 看護師の皆さんが一生懸命仕事してるのが印象に残った
- 患者さんに接する時と接していない時の切り替えの速さや仕事に戻る速さが印象に残りました。
- 看護師の一日はハードだった
- 次の患者さんもいて時間も大変なのに、前の患者さんを急かすことなく、自分のペースでさせていたこと
- 感染対策などを徹底していたこと
- 仕事をしながら患者さんとお話をしてその日の体調などを確認していて効率よく患者さんのために働いていたこと
- 看護師さんたちにつくときに、とてもバタバタしていて、ドラマよりも何倍も忙しそうだったこと
- 色々な科があり、働いている人が沢山いて患者さんをお風呂に入れる時の仕事が大変そうで印象的でした
- 周りの状態を把握する能力がすごくて、患者さんに明るく話しかけていると思ったら患者さんの

些細な変化を察知していてすごいなと感じた

- どの看護師さんも見学の時に会った病院の方々も笑顔で優しかった
- 病院見学をする中で働いている看護師さんをみて、責任のあるやり甲斐のある仕事だと感じた
- 体験学習をして、看護師さんたちがどんな仕事をしているのかを知れたこと
- 看護師さん方がいつも患者様のことを考えて院内を行動しているのが伝わってきたことです。一見何も無いように見えて、幾つもの考えを巡らせているのだなと感じました
- 実際に患者さんと触れ合って看護師さんが患者さんが不安にならないように優しく話しかけていたこと
- 車椅子を押す時に「段差がありますよー」など声をかけることが大事だと知った
- 看護師の方が患者さんに話しかける時に耳元でゆっくりとハキハキと話すようにしていて、気遣いが細かいところまでされていてすごいと思いました
- 患者さんや、病院で働いている人が明るかった
- 患者さんのすぐそばで支えられること
- 会話の難しい患者さんにも必ず「大丈夫ですか?」「今から〇〇しますよ〜」という声をかけていらしかった看護師さんを見て憧れた
- 看護師の仕事は大変だけどとてもやりがいがあること
- 専門的な資格としての責任を持って行動することが大事
- 知識がすごい
- 回診について挨拶した時や、患者さんたちのベッド周りの環境整備をした時にありがとうと言ってくださったことがとても嬉しかったです！
- 患者さん1人1人に合ったベットや服装などと色々なところに気を配っていること
- 病室の巡回
- 看護師さんと患者さんの距離が近く、患者さんの不安を笑いで和らげている所にびっくりしました
- 看護師さんが患者さん一人一人に声をかけていて、患者さんもとても明るくお話してくださったのでとても雰囲気がいいと思い印象に残った
- 患者さんに話しかけて一緒に塗り絵とかをしていたこと
- 看護師さんが患者様一人一人のことをほんとによく理解していること
- 認知症の患者さんに声をかけて、脳に刺激を与えるだけでも、コミュニケーションが取れることができ、大切なことだと教えていただいた
- 常に患者さんのことを考えて何事も行動すること
- どこに配属されるかでやる内容が全然違うこと
- 実際に働く看護師と話した際、とても楽しそうに働いていることが伝わり自分の将来に向けてより自信が持て、体験ブースの際看護師や他業種の方職業関係なくとても仲が良くチームワークの大切さを知ることができた。そして、アドバイスをもらうことで視野が広がり良い機会だった。
- ドクターカーに乗る女性の看護師も多くいて、力があること
- 看護師さんが笑顔で接していたこと
- 手術前の準備の段取りの良さ
- 助産の仕事が気になりました

- 助産師になりたいと考えているので、助産師の方に話を直接聞くことができたところ
- 助産師の仕事を近くで見るのは初めてだったので全ての作業が印象に残りましたが、1番は患者さんへの声掛け、思いやりについての助産師さんからいただいたアドバイスが1番心に残りました
- 沐浴で、看護師さんが赤ちゃんに終始声を掛け、赤ちゃんが安心できるような環境作り優しく沐浴していた。赤ちゃんも初めは服を脱いだせいか、驚いた様子で手足を動かし元気に泣いていたが39-40℃位のお湯に浸かり、安心していった。優しさが赤ちゃんに伝わり、気持ちよさそうにしている赤ちゃんを見て、助産師を目指す意欲が強まった。
- 実際に小さい赤ちゃんを見てかわいかったし、助産師さんが優しく話しかけていて心がほっこりしました。

【訪問看護ステーション体験】

- 訪問看護が出来たこと（2人）
- 訪問看護という形の看護があることを初めて知りました。患者さんの希望、ニーズに寄り添う看護師は一段とカッコよくみえました
- 訪問看護を体験した時、看護師の方とお家の方の仲の良い、お互いを尊重し合っている姿にとっても刺激を受けました
- 在宅看護の際に、利用者様と会話しつつ、体調や具合を聞いたり、血圧を測ったりしてすごいいいと思った
- 看護師だけでなく、さまざまな人が関わって1人の患者を診る訪問看護は、今までの自分のイメージと異なっており、とても印象的だった
- 実際に訪問看護に行ってみて、患者さんのお世話をする仕事の内容をあまり知らなくてとても大変だと驚きました。重心病棟の患者さんとふれあう機会はなかなかないので、実際に血圧を測ったり、お散歩ができて良かった
- 看護師は病院だけではなく、患者様の家に行って看護をするという仕事もあって患者様の近くで支えられるというところにとっても関心を持ちました。看護師さん1人1人が常に考えて行動している姿
- お邪魔した訪問看護ステーションの方の患者さんに対しての推察や意見交換が盛んにされていて、患者さんの人生を背負っている感じがして印象的でした
- 当たり前だけど、毎日定期的に患者さんの家に訪問してること。体験してみて大変そうだったけどそれと同時に、やりがいも感じられそうだとも思った

【病院について】

- 手術室見学（20人）
- 手術器具を実際自分の手で触れたこと（6人）
- 院内見学（4人）
- 手術室の体験（2人）
- 治療に関係する器具がたくさんあったこと（2人）
- 病院内を詳しく案内してくださったので、普段見れない場所や表にはあまり出ない職種の方々と

も話すことができ、すごく充実した看護体験でした（2人）

- オペ室見学で実際にオペしてるところを見た時
- レントゲンを実際見たこと
- ドクターヘリに乗ったこと
- 初めて、コロナ禍で活躍していた、エクモを見れたことです
- 病棟とかの雰囲気がとても良くて、すごく明るいなと思いました
- 緊急時のためなどに設備がしっかりされてたことです
- 赤ちゃんを実際に見たり、NICUなどを見たこと
- 普段見ることの出来ない検査室を見学したり体験したりすることが出来たこと
- 集中治療室で、実際に患者さんの状態や働いてる人の様子を見れたことがすごくいい経験になった
- たくさんの機械
- リハビリ室の広さ
- 胃の手術を見たこと、病院内が広がったこと
- 行った病院が精神科だったので全てのドアに鍵がかかっていて 1 度閉めると鍵が無いと開かないといった構造になっていてなるほどな……と思った
- 知らないところにたくさんの部屋があり入られて危ないところにはしっかりロックがかかっていたこと
- 手術室の器具を滅菌する部屋に入ったこと
- ナースコールが押せない人のために床に降りるだけで鳴るものやてんとう虫という患者さんのための工夫があって、たくさんの機械が使われていることに驚きました

【その他】

- 患者様と実際にふれあい、会話をできたこと（21人）
- どの看護師さんも仲が良くて優しかったこと（5人）
- それぞれの患者さんにあった食事があること（4人）
- ペースメーカーのことを詳しく学ぶことが出来て良かったです（3人）
- 様々な患者さんがいたこと（2人）
- 患者さんが常に、看護師さんに「ありがとう！」と言っていたところが印象に残りました！
- 食事の介助が終わったらありがとうと言われたこと
- 看護師のお仕事だけでなく、多職種のお仕事内容も学ぶことができたことです。
- 看護師の話を聞いてとても医療従事者になりたいと思った
- 実際に体験ができて看護師になれたみたいで嬉しかったです！！
- 対象者の方からの感謝の言葉で今日 1 日の疲れが取れるくらい吹き飛んで、絶対に看護の道に進もうと思った
- これから、看護師と言う夢に向かって、たくさんのことを学んで行きたいと思いました。
- 皆さん優しかったが、強く頼もしさを感じました。こうして少しですが看護の仕事に触れて、より看護職への思いが強くなり良い経験となりました。患者さんとコミュニケーションをとったけど、とても楽しくてもっと色々な人の笑顔を見たいと思った

- 人とのコミュニケーションが大切だとわかった
- 楽しく貴重な体験をさせて頂きありがとうございました！
- たくさんやる事が多くて大変そうだなと思った
- いろいろな人と関わっていた。部屋がたくさんあって覚えるのが大変そうだった
- 人に合った治療をしていて良いなと思った
- 蜂に刺された患者さんがきて、息がしにくそうでじんましんがでていたこと
- 喉に穴をあけて喉で呼吸している患者さんにお話を聞くことができ、言葉を発せなかった時の辛い思いや今の喜びを聞くことが出来てよかった
- 排泄ができなくて袋に入れてる患者さんがいて印象的だった
- 患者さんに思った以上に感謝してもらえること
- 重症心身障害病棟の患者さんとコミュニケーションをとったり、歌を歌ったりしたこと
- 心電図モニター観察での数値によって患者さんの病気が分かるところ
- 訪問看護とヘルパーの仕事の違いがよく分かりました

6. まとめ

「ふれあい看護体験2023」は、コロナ感染拡大の中、感染対策の徹底、体験内容の工夫をされ、50施設で429名が体験することができた。参加された生徒のうち82%が保健師・助産師・看護師いずれかを目指していた。ふれあい看護体験で印象に残ったことでは、「患者様と実際にふれあい、会話をできたこと」と答えた生徒が21人と一番多く、次いで「手術室見学」が20人と多かった。また、看護技術体験と回答した生徒が多かった。実際に患者とふれあうことができ、普段見ることができない場所を見学できたことは、中学生、高校生にとってとても良い経験になり、看護職により興味を持っていただけたと思われる。

また、2021年から訪問看護ステーションも受入れ先となり、ご協力いただいている。看護職は病院で働いているイメージがあるため、実際に訪問看護ステーションで体験した生徒の中には、訪問看護を初めて知ったという生徒もあり、看護職の活躍の場を知ってもらうきっかけになった。今後は、保健師を目指している生徒のために、行政に協力を得て保健師の仕事も体験できるように働きかけていきたい。

申込みや受け入れ調整、実施報告の事務手続きの簡略化を図るため、昨年度よりシステム「つなぐ。」を導入している。昨年度課題となったのは、受入施設が「申込学校の連絡先がわからない」ということであった。そのため、申込学校の連絡先を「つなぐ。」から見るできるようにシステム改修し、受入施設から学校への連絡がしやすくなった。また、今年度は運用マニュアルを作成して、受入施設と学校へ配布、ホームページに掲載をし、入力方法の案内をおこなった。ID取得後は、IDの変更はないことをアナウンスしているが、学校の担当の先生が変わる際に、IDとパスワードの引継ぎがない学校が多く、問い合わせが多かった。IDとパスワードの引継ぎをしていただけるように周知していく必要がある。今後も、受入施設と学校の意見を聞きながら、「つなぐ。」を充実させていきたい。